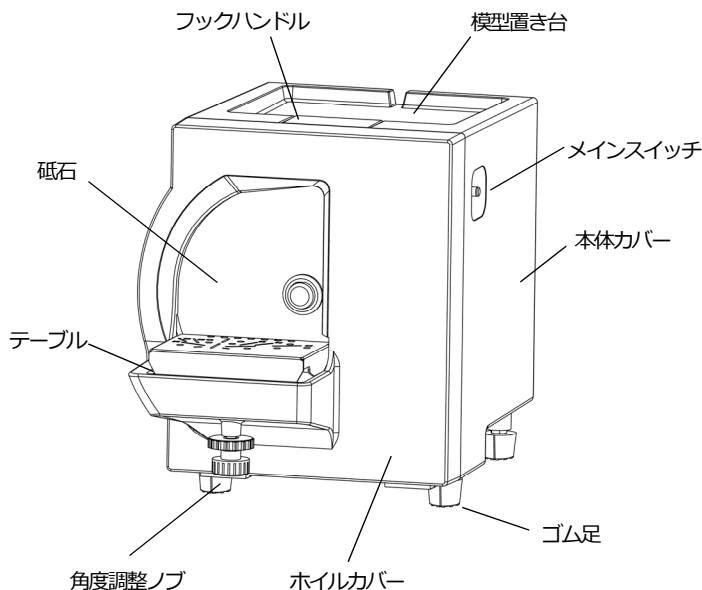


機械器具 60 歯科用エンジン
一般医療機器 歯科技工用トリマ (JMDNコード: 70741000)

モデルトリマーMT10

【形状・構造及び原理等】

1. 装置外観図



2. 電気定格

- (1) 定格電圧 : AC100V
- (2) 電源入力 : 600 / 540VA (50 / 60Hz)
- (3) D種接地工事 (100 Ω) を必ず施すこと。

3. 本体寸法及び質量

- (1) 寸法 : W281 × D372 × H331(mm)
- (2) 質量 : 14.5kg

【使用目的又は効果】

本装置は、顎態模型、平行模型等の石膏の削合に用いる。

【使用方法等】

1. 使用環境条件

下記の条件にて使用すること。

- (1) 周囲温度 : 10 ~ 40℃
- (2) 相対湿度 : 30 ~ 75%RH (結露しないこと)
- (3) 気圧 : 700 ~ 1,060hPa

2. 操作方法又は使用方法

- (1) 本体底面から出ている電源コードをコンセントに差し込む。
- (2) 本体に給水を行う。
- (3) 石膏模型の研削角度により、テーブルの上下角度を調整する。
- (4) 本体右側面のメインスイッチをONにする。
- (5) 作業が終了したら、メインスイッチをOFFにし給水を停止する。

3. 使用方法等に関連する使用上の注意 *

<操作前> *

- (1) 使用前に以下の事項について確認すること。*
 - ①ホイールカバーが確実に固定されているか *
 - ②テーブルが確実に固定されているか *
 - ③砥石が確実に固定されているか *
 - ④砥石にひび、欠けなどの異常がないか *
 - 使用中の脱落や砥石の破損によりけがをするおそれがある。*

<操作中>

- (2) 回転中の砥石には直接触れたり、石膏以外の物を当てないこと。*
 - けがや故障のおそれがある。*
- (3) 安全ブレーカーが働いた場合は電気配線内に異常が発生しているおそれがあるため、速やかに点検を依頼すること。
 - 漏電などの事故や故障の原因となる。
- (4) 操作中は本体を動かしたり衝撃を加えたりしないこと。また操作中に電源プラグを抜かないこと。*
 - 本体の変形や、破損・故障の原因となる。*
- (5) 模型置き台には模型以外のものを置かないこと。*
 - 事故や故障の原因となる。*
- (6) 研削時は砥石に加工物を過度に押し当てないこと。
 - モーター過熱や砥石破損の原因となる。
- (7) 研削中は必ず砥石に給水を行うこと。
 - 給水を怠ると、発熱・変形など故障の原因となる。
- (8) 加工物を砥石に押し当てた状態で回転を開始させないこと。
 - 故障の原因となる。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

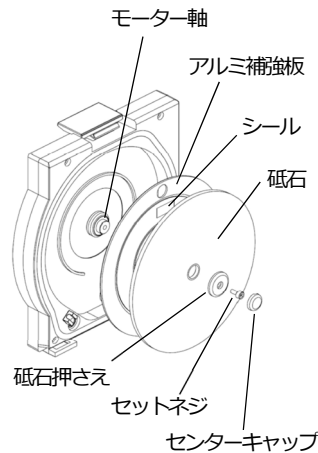
< 準備 >*

- (1) 砥石の取り付け・交換時は必ずメインスイッチを OFF にし、電源プラグをコンセントから抜くこと。*

●不意にメインスイッチが ON になると、モーターが回転しけがをするおそれがある。*

- (2) モデルトリマー用砥石は部品・順序を正しく取り付けること。(右図参照) *

●不安定な回転によりけがや破損のおそれがある。*



- (3) 以下に該当する砥石は使用しないこと。*

- ① 落としてたりぶついたりしたもの (ひび、欠けがみられるもの) *
- ② 変形や歪み、異音など異常がみられるもの *
- ③ 補強歯が露出しているなど、損耗が激しいもの *
- ④ 当社指定品でないもの、他機種用・他社製品用のもの *

●砥石が破損しけがをするおそれがある。*

- (4) モデルトリマー用砥石は、必ずアルミ補強板を重ねて取り付けること。また砥石裏面の三角マークをアルミ補強板の丸穴と合わせること。*

●砥石が破損しけがをするおそれがある。*

- (5) モデルトリマー用砥石を使用する際、以下のアルミ補強板は使用しないこと。

- ① 変形や歪みのあるもの
 - ② 砥石との接触面にキズ・汚れ・サビがあるもの
- モデルトリマー用砥石の安定した回転の妨げとなる。

- (6) 砥石は確実に固定すること。*

●砥石が外れけがをするおそれがある。*

- (7) 砥石取り付け時、給水パイプを曲げないこと。また、一旦給水パイプを取り外した後は元通りに接続すること。

●前面から水が溢れたり、砥石が目詰まりしやすくなる。

< 砥石交換 >

- (8) ダイヤトリマー用砥石に交換する場合は、取扱説明書を参照し、正しく取り付けを行うこと。

●事故や故障の原因となる。

< お手入れ >

- (9) 本体を水洗いしないこと。*

●漏電などの事故や故障の原因となる。*

- (10) ベンジン・シンナーなどの溶剤やアルコールは用いないこと。

●各部の劣化や故障の原因となる。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管の条件

下記の条件にて保管すること。

- (1) 周囲温度 : -10 ~ 70℃
- (2) 相対湿度 : 10 ~ 85%RH (結露しないこと)
- (3) 気 圧 : 700 ~ 1,060hPa

2. 耐用期間

10年間。(自己認証(当社データ)による)

※正規の使用法、保守点検、消耗品などの交換を行った場合に限る。

【保守・点検に係る事項】

1. 医療機器の使用、保守の管理責任は、使用者(医療機関、病院、診療所、技工所)側にある。
2. 日常点検及び定期保守点検は以下の項目に従って行う。

〔使用者による保守点検事項(日常点検)〕

点検内容 1~4 については毎回使用前に、5~7 については毎回使用後に実施する。

No.	点検内容	点検方法
1	本体上や周囲に妨げとなるものが無い	周辺に十分な空間をとり、障害物がある場合は取り除く。
2	電源コード・電源プラグ・コンセントに断線・接続不良・接触不良・ホコリの付着などが無い	目視にて確認し、正しく接続を行う。
3	本体各部に異常が無い ①メインスイッチが正常に ON/OFF できるか ②ホイールカバーが確実に固定されているか ③テーブルが確実に固定されているか ④給水・排水が正しく行えるか ⑤本体にガタつきが無い	正しく使用できることを確認する。 異常がみられる場合は使用を中止し、点検または修理を依頼する。

No.	点検内容	点検方法
4	砥石に異常がないか ①確実に固定されているか ②ひび・欠け・損耗がないか ③回転中にガタつき・異音がないか ④表面に著しい石膏の付着がないか	取り付けに問題がある場合は確実に固定する。 砥石に異常や消耗がみられる場合は使用を中止し、新品と交換する。 石膏の付着がみられる場合は取り除く。
5	給水を停止したか	本体に接続している蛇口を閉める。
6	砥石及びテーブルに石膏の付着がないか	付着がみられる場合は取り除く。
7	メインスイッチをOFFにしたか	OFF にする。

詳細は取扱説明書を参照すること。

〔業者による保守点検事項（定期保守点検）〕

6ヶ月ごとに実施する。

No.	点検内容	点検方法
1	電源電圧	コンセントの電源電圧がAC100V±10%の範囲内であることを確認する。
2	本体	以下について確認する。 ①各部ネジに緩みがないか ②変形・歪み・錆などがないか ③定格銘板、注意シールが確実に貼られているか
3	内部機構	以下について確認する。 ①各部ネジに緩みがないか ②安全機構が正常に作動するか ③モーターが正常に作動するか

詳細は取扱説明書を参照すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

株式会社モリタ東京製作所

電話番号 048-723-2621

お客様専用フリーダイヤル 0120-131-557

受付対応時間 9:00~12:00、13:00~17:00**

(土・日・祝日を除く、弊社営業時間)**